

青空の下「気分は最高です」

生田緑地ばら苑や向ヶ丘遊園のばらロード



ばらロードでのんびり散策

向ヶ丘遊園駅近くにある「ばらロード」にもお出かけしました。この「ばらロード」は、平成十四年に開園した向ヶ丘遊園のモノレール跡地を有効活用したもので、生田緑地ばら苑に通じるエントランスロードにもなっています。到着した利用者たちは、三百メートルほどのばらロードをゆっくりと散策。かつて乗つたことのあるモノレールなど昔話に花を咲かせながら、歩行リハに精を出していました。



歩行リハビリを兼ねてお出かけ

生田緑地ばら苑は、昭和三十三年に開苑した古い歴史を持つ苑で、す。当時は「東洋一のばら苑」と言われたそうです。小田急向ヶ丘

丘遊園の閉園にともない、存続を求める多くの市民の声に応え、川崎市が管理を引き継ぎ現在に至っています。

そんな苑内には、五百三十三種、四千七百株のバラが咲き誇ります。この日訪れた利用者たちは、深紅や赤、オレンジ、黄色、ピンクに白など、色とりどりの花々を眺めながら、三十分ほどの散策を楽しみました。

秋を満喫

デイサービス響

デイサービス響では、秋本番を迎えた十月、歩行リハビリを兼ねて、生田緑地ばら苑や向ヶ丘遊園のばらロードをはじめ近所の公園にお出かけしました。秋のさわやかな日差しを浴びながら、また、満開のばらの花や色付き始めたイチョウ並木をながめながら、利用者たちは「最高の気分」と笑顔になっていました。



近所の公園で歩行訓練

通称「マムシ公園」という愛称でよばれ、住民たちの憩いの場になっている「三田第三公園」。デイサービスでは、男性利用者を中心に行リハビリを兼ねて、この公園にお出かけをしています。十月に入つてから、徐々に黄色に色付き始めたイチョウ並木。訪れた利用者たちは「秋だね」と話しながら、園内を一周、二周と散策を楽しみました。

ひびき通信

平成27年
11月版

年末は三十日、年始は四日から営業

デイサービス響

デイサービス響では、昨年度から年末の営業日を十二月二十九日までだったのを三十日までに変更しましたが、今

年も昨年同様に十二月三十日までの営業となります。年始の営業開始日は、一月三日が日曜日ということで、新年は一月四日から営業開始となります。詳細につきましては、当センターまでお問い合わせください。

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

デイサービス響
グループホーム響

居宅介護支援事業所響
宅老所「ほっと生田」

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

発行日：2015年11月1日 発行者：岸忠宏
発行所：日本ケア創造株式会社 住所：川崎市多摩区栗谷4-6-13